



九州大学キャンパス(伊都キャンパス)ツアー

7月4日は、国際教育に力を入れている福岡市立福岡西陵高等学校を訪問しました。芸術クラスの授業では、西陵生と一緒に書道を体験する機会を得ることができ、参加学生は思い思いに筆を走らせていました。続く英会話クラスでは、学生たちがトルコ・ヨルダンの紹介を行い、日本の高校生とのディスカッションを行いました。同世代の学生が交流す

◎ 福岡西陵高校を訪問

7月4日は、国際教育に力を入れている福岡市立福岡西陵高等学校を訪問しました。芸術クラスの授業では、西陵生と一緒に書道を体験する機会を得ることができ、参加学生は思い思いに筆を走らせていました。続く英会話クラスでは、学生たちがトルコ・ヨルダンの紹介を行い、日本の高校生とのディスカッションを行いました。同世代の学生が交流す

プログラム初日は、九州大学伊都キャンパス日本ジョナサン・KS・チヨイ文化館で開講式を行い、清水周次副理事による挨拶の後、プログラム実施主担当者である沖祐太郎が全体スケジュールや注意事項等を説明しました。トルコとヨルダンの学生たちは、この日がお互い初対面ということもあり、始めは緊張した面持ちでしたが、歓迎会が終わる頃には、すっかり打ち解けていました。

◎ オリエンテーション

将来的に日本留学の布石となる機会を提供することを目的としています。

プログラムスケジュール	7月2日	福岡到着
	7月3日	オリエンテーション、交流会 キャンパスツアー
	7月4日	福岡市立福岡西陵高等学校で学生交流 博多伝統工芸体験一博多人形絵付け
	7月5日	九州大学農学部訪問 模擬講義、学部国際コース実習
	7月6日	九州大学工学部訪問 模擬講義、研究室見学 ハラル学食体験
	7月7日	九州大学総合理工学府訪問 総合理工学府の紹介、模擬講義、研究室見学 成果報告会
	7月8日	福岡空港出発ートルコ・ヨルダンへ

トルコ、ヨルダンの高校生が  
バイオテクノロジー研究を体験  
九州大学は、科学技術振興機構(JST)「さくらサイエンスプログラム」に採択され今年7月2日から8日までの7日間にわたりトルコのMEFインターナショナルスクールヨルダンのキングスアカデミーの高校生7名と引率教員2名を招へいました。今回のプログラムでは、両国でも関心の高いバイオテクノロジー分野の研究を体験してもらうこと、また日本の高校生との交流や日本文化体験を通じて、



沖 祐太郎  
(九州大学  
国際戦略企画室  
特任准教授)

九州大学の活動報告

科学技術振興機構『さくらサイエンスプログラム』友情と感激

Ⅱ 特別連載Ⅱ

第370回



農学部での実習



福岡西陵高校でのランチタイム

る中でお互いの文化の違いや高校生活の違いを知ることができ、トルコ・ヨルダンの学生、西陵校生双方にとり貴重な機会となったようです。

### ◎ 多様な視点から バイオテクノロジーを学ぶ

7月5日からの3日間は九州大学の農学部、工学部、総合理工学府の研究室を訪問しました。最初の訪問先となった農学部では、ダグラス・ドラモンド教授による講義で、世界の食糧資源の推移と現状をバイオサイエンス、バイオテクノロジーの観点から説明して頂きました。午後の実習講義では、ドラモンド教授から実習課題である「脂質の精製と分析」に関する説明を受けた後、農学部生物資源環境学科国際コースの学生とともに、実際に卵黄と牛乳から脂質を分離し、薄層クロマトグラフィーを用いて脂質の成分を分析する実習に取り組みました。

工学部では、応用化学部門の片山佳樹教授による講義で、免疫学の基礎知識から最先端の研究まで幅広く紹介いただきました。研究

室訪問では、博士課程に在籍中の学生と質疑応答を行いながら化学実験や細胞実験の様子を見学し、医工連携の視点からバイオテクノロジーを捉える良い機会となりました。

最終日は、総合理工学府のオサマ・エルジヤマル准教授の研究室を訪問し、廃水を用いた水資源管理に関する研究や微生物燃料電池(MFC)に関する研究紹介を行いました。自国で水資源管理や持続可能エネルギー関連のセミナーに出席した経験を有する参加学生も多く、活発なディスカッションが行われました。

### ◎ 成果報告会

成果報告会では、「日本の学生達が社会貢献を意識して進路選択していることに感銘を受けた」「研究室には最先端の機器が揃っていた」「将来の進路に迷いがあったが、研究室訪問でナノテクノロジーに興味を持ったので九州大学に留学したい」「日本食になじめず食事に苦労した」など、さまざまな声が聞かれました。本プログラムを通じて、バイオテクノロジーが社会課題解決にどのような役割を果たしているかを学ぶとともに、同世代の学生との交流を通じて、アニメ・漫画で描かれている日本とは違う「日本」を知ることができた様子でした。

今後もこの関係性を継続・発展できるような連携を進めていきたいと考えています。

### ◎ 今後の展望

さくらサイエンスプログラム終了後も招へい校であるヨルダンのキングスアカデミーやトルコMEFスクールとの関係は続いています。特に、10月16日にはヨルダンのキングスアカデミーを訪問し、本学を訪問した教員・学生と再会を果たすとともに、彼らの協力も得つつ日本留学説明会を開催しました。

同校はヨルダンを代表するインターナショナルスクールの一つで、卒業生の多くが海外の有名校に進学しています。同校の進学カウンセラー先生方から、このイベントをきっかけに日本の大学に興味を持つ学生が増えたとの言葉をいただきました。

さらにプログラム実施主担当者である沖祐太郎は、東京都教育庁が行っている多文化共生海外派遣事業に協力しており、都の高校生を派遣先としてヨルダンのキングスアカデミーを推薦し、両者の関係構築を支援しました。これによって、11月には都の高校生の同校への派遣が実施される予定です。

さくらサイエンスプログラムの実施を契機に日本・ヨルダン・トルコの学生の交流が進展し、さらに拡大していく端緒を作ることができました。